

【3月9日】

卒業生105名が 瑞浪北中を巣立ちました！

—令和3年度卒業証書授与式—



休校が明けても、マスク着用、ソーシャルディスタンス、三密の回避など、「話せない」「動けない」「歌えない」の生活が続きました。

そんな状況の中でも、卒業生たちは頑張っ
て日常生活を充実させたり、地域に自分たち
からアプローチしたりして、充実した中学校
生活を送りました。

3年前の開校と同時に入学した105名の生徒たちが、本日堂々と瑞浪北中学校を巣立っていきました。

顔と顔を付きあわせておしゃべりしたり、思いきり体を動かしたり、そして、腹の底から声を出して歌ったりできたのは初年度だけ。もうすぐ2年生になるという1か月間から、突然の休校が始まりました。その後、



在校生代表I・D君の語りが実に素晴らしく、卒業生たちはその頼もしさに「安心して北中を任せられる」と思ったことでしょう。卒業生から在校生へ、北中のバトンは確実に手渡されました。

答辞を担当したA・K君とI・R君からは、三年間の思い出や、支えてくれた人たちに対する感謝の言葉とともに、感極まった涙があふれました。

今年度も在校生の姿は式場にはありませんでしたが、送辞を担当した



